

危険な公共施設の老朽化 急がれる危険個所の特定と補修工事

今年4月から小学校や中学校での外壁落下が続き、児童が負傷するなど学校等の公共施設の老朽化によって、子どもたちや市民の安全安心が脅かされています。市は経年劣化が原因とし、専門業者による打診点検を行った結果、なんと87.7%、全市203校中178校の外壁の補修が必要と判断。



中学校
武道場雨漏り

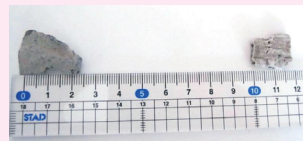
早期に危険場所を特定するため、これまでの法定点検の

周期を短くするべきです。市は「法に基づき定められた時期に実施し、計画的な修繕も実施している。日常点検が大事」と答弁。しかしその後も中学校女子トイレの天井点検口パネル落下や学校ウォッチングで視察した避難所にもなる武道場の雨漏りなど外壁だけではなく全体の老朽化も顕著に。

長寿命化計画で改築時期を60年から80年に延伸した本市ですが、「これまでの周期の法定点検では間に合わない。周期を短くすべき」と再度求めました。



多くの補修工事跡が残る外壁



落下した外壁の破片

市内事業所の99%を占める中小企業・小規模事業者は、本市の地域経済を支える要です。しかし、人手不足や高齢化による事業承継問題に加え、新型コロナウイルスの影響や、原材料や燃料の物価高騰で、厳しい状況です。さらに国による実質無利子、無担保の「ゼロセロ融資」の返済が始ま

**市長質疑
中小企業者・小規模事業者支援は
実態に合った支援を**

り、追い打ちをかけるように10月からは、小規模事業所に負担を強いる「インボイス制度」の導入です。このままでは倒産・廃業が昨年度をはるかに超えることが危惧されます。融資の利率の引き下げや相談窓口の設置だけでなく実態にあった直接支援も考えるよう求めました。

**マイナンバーカードと
健康保険証の二体化について**

現行の保険証廃止で増える負担

医療現場で発生するトラブルや混乱の実態について市として把握し、カードと健康保険証の二体化をやめ現行の健康保険証を残すよう政府に求めるべきとの質問に「考えていない」との答弁。マイナ保険証を持たない人には「資格確認証」、マイナ保険証取得者には「資格情報のお知らせ」を作成・発行するのは自治

体や健康保険組合であらたな負担となります。システム導入が負担になるため開院を早めた医療機関もあります。高齢者や障害者にとっても確認の負担、医療機関や薬局にとっても負担、高齢者や障害者施設でも管理が負担、一番の解決策は現行の健康保険証を残すことです。



無料法律・生活相談

● 毎週水曜日 午後6時～ 大里市政相談所
◆ 問い合わせ先：門司区高田2-3-17 ☎ 093-391-2894

予約が必要

市政をチェックし、市政を動かす

大石議員が反対討論 物価高騰対策など強く要求

2022年度の一般会計決算など13議案に対し、大石議員が反対討論に立ちました。

下関・北九州道路など不要不急の大型開発、窓口縮小と職員削減・市民サービス後退につながるデジタル市役所推進、マイナンバーカード問題、学校給食のあり方、加齢性難聴者への補聴器助成

制度の創設、中小業者を廃業に追いやるインボイス制度などについて、具体的な問題点を指摘し、反対を表明。

市民生活と中小業者の経営を直撃している物価高騰に対し、国に抜本的な対策を求めるとともに、市独自の対策を強く求めました。



約束破りの海洋放出、代替案の検討もなし 伊藤議員が決議反対を表明



伊藤淳一議員は、自民党無所属の会が提出した「今こそ国産海産物を食べよう決議」に対する反対討論を行いました。

伊藤市議は、「国産海産物を積極的に消費することを広く呼びかけ、福島県産をはじめとした国産の海産物に対する風評被害の防止と消費の拡大に尽力していくことを宣言する」とした部分について反対するものではない、と表明。

一方、①「関係者の理解なしに行わない」とした漁業者、国民との約束を、政府自ら破って強行した海洋放出を当然視すべきではないこと②環境負荷の小さいモルタル固化や大型タンクによる保管など、実績のある代替策を行わず、環境に最も影響のある海洋放出を当然視するのは科学的ではない—として反対しました。

	日本共産党	無所属の会 自民党	公明党	北九州 ハートフル	自民未来	日本維新の会	賛否
9月市議会 日本共産党提出の意見書 に対する賛否一覧	8	16	13	11	3	3	
旧統一教会の解散命令請求を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
約束違反の福島原発汚染水（アルプス処理水）の放出の中止等を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
物価高騰から消費者、事業者を守るため、トリガー条項発動と二重課税の解消を求める意見書	○	×	×	○	×	×	否決
インボイス制度の中止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
性犯罪を根絶するための取組を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
洋上風力発電事業を巡る汚職事件の全容解明を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
「地球沸騰化」の深刻な警告を受け止め対策強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決

2度の火災乗り越え、旦過の復興へ 市議団、再整備進む旦過市場を視察

10月3日、旦過市場商店街の黒瀬善裕副会長と草野尚嗣・神嶽川旦過地区整備室長の案内で、2度の火災を受け再整備が進む旦過市場を視察しました。

室長は事業の進捗状況を説明。副会長は市場の再整備が進む一方、店主の高齢化や、店の開店・閉店時間と客足の食い違いが出ていることなどを指摘。市場再生への力添えを訴えました。



旦過市場を視察

市民の暮らし、安全を守る

給食無償化を

相次ぐ学校給食無償化自治体

住民運動などによって学校給食の無償化に踏み切る自治体が相次いでいます。2023年10月現在、493自治体で実施されています。

福岡県内では何らかの形で無償化を実現した自治体は17自治体に。「誰一人取り残さない教育、学校給食の実現」は、「子育て日本一」を掲げる北九州市にとって緊急の課題となっています。

白島石油備蓄基地を視察



8月2日、白島国家石油備蓄基地を視察しました。響灘沖合8キロに位置する世界でも例のない外洋の洋上備蓄基地です。

同基地を管理・運営する白島石油備蓄(株)の役員らの案内で説明を受け、基地の仕組みや防災対策、備蓄の現状などについて質問しました。

6月議会では山内議員が、同基地が初めて実施した行先不明の28万キロリットルの石油放出(22年6月20日～9月30日)の背景について質問。

企画調整局長の「テロの被害であるとか、武力行為による被害、こういった想定の有無を含めて市の方では知らされていない」との答弁に対し、基地が特別防災区域に指定されているほど危険な地域であると指摘。周辺住民を対象とした安全確保と防災計画の策定を強く求めました。



↑屋根の素材にアスベスト使用疑い



全写真はコチラ
(学校名は伏せています)

■公共施設を良くする会 2008年に発足。公共施設を市民目線でチェックし、市民にとって安全で使いやすい施設にしていくことを目的とした団体。

■学校ウォッチング 「良くする会」が主体となり、子どもたちの快適な教育環境と施設周辺地域の安全な環境の実現を願い、学校施設改善を中心に市に要望を届けている。今年は14校(各区2校ずつ)の視察を実施しました。



指でなぞった跡が残るカビ

カビの原因とみられる生い茂った竹林↓

市教委は「持ち帰って再度検討」や「再調査」など前向きな姿勢も示しました。

市議団は、カビの酷い学校について緊急に視察を行い、再度教育委員会へ改善要望を申し入れるなどの対応を予定しています。

「予算の関係ですぐ修理されない」などの訴えが相次ぎました。

学校ウォッチングで懇談

机にカビがビッシリ

市教委に改善を要望



土地利用規制法・区域指定 住民の理解なしの区域指定を行わないこと

10月10日、武内市長に対し「土地利用規制法に基づく区域指定のすべての資料公開と、住民の理解なしの区域指定を行わないことなどを求める緊急申し入れ」を行いました。

市内では、陸上自衛隊小倉駐屯地、陸自富野弾薬支処から1キロ以内の地域が区域指定候補とされました。周囲1キロが監視対象になり、「機能阻害行為」が確認され、従わなければ刑事罰が科されます。重大な問題は、誰を対象かなど核心部分をすべて政府の判断に任せていることです。

市議団は①内閣府から本市に届いた通知、資料をすべて住民に公開すること②個人情報を政府に提供する場合には、当該個人の同意をとること③「注視区域」「特別注視区域」の候補となる区域のある住民の理解なしに区域指定は行わないことなどを強く求めました。



市に申し入れ

堀江氏の市アドバイザー解任を インボイス制度で暴論展開



クロスエフエム(本社・北九州市)会長の堀江貴文氏を市アドバイザーに任命した問題で、日本共産党市議団は10月23日、同氏の解任を求める申し入れを行いました。

堀江氏が9月27日、投稿サイトでインボイス制度に反対している人たちに対し、「バカのせいで税金が無駄遣いされています」「ちょっと頭の弱い人たちがワーワー騒いで」「デモとかしている暇あったらもっとお前ら、自分のスキル磨けや」などと揶揄したことを受けてのものです。

申し入れは、インボイス制度導入反対署名が全国で56万人を超えるなど反対の声が大きく広がっていること、また、北九州市では中小企業・小規模事業者が99%を占めるなど、産業の大きな柱になっていることを指摘。堀江氏の発言は許されるものではないとして、アドバイザーの選考基準を明確にすることも求めています。